



議会だより なおしま

2016 No. 177
平成28年10月11日

発行●香川県直島町議会
編集●議会広報編集特別委員会
電話●(087)892-2297
印刷●山陽印刷(株)



中・高生海外研修（ホストファミリーの皆さんとリバプール駅にて）

- 税の滞納なくす努力を(27年度事務報告)…………… 2P
- 繰越金を減らせ(27年度決算質疑)…………… 4・5P
- IT企業誘致の実現性は(町長・教育長報告)…… 6・7P
- 女性に活躍の場を(一般質問2名)……………10P
- 移住に不安を感じさせないよう(U・Iターン者に聞く)………12P

努力を

平成27年度 一般会計決算（歳出） 48億788万円を認定

平成28年第5回定例会を9月8日から9月15日までの8日間の会期で開催しました。

平成27年度の事務報告や、一般会計・特別会計および簡易水道事業会計の決算について慎重に審議し、全員賛成で認定しました。

一般質問では2人が町政を問いました。平成28年度の補正予算など14議案・報告2件・諮問1件をいずれも可決しました。

主な質疑

事務報告（抜粋）

企業収益の持ち直しなどにより、個人町民税や法人町民税が増となったことや固定資産税が大きく増収となりましたが、財源不足の解消には至りませんでした。基金からの繰り入れ、有利な地方債の活用で対処しました。町の将来を見据え必要な事業を実施するため、交付税措置がある有利な地方債の活用をはかりました。

環境活動、文化活動、地場産業の育成・開発など多角的経済基盤の確立を図るとともに、観光・商業のさらなる振興に結びつけ、第4次直島町総合計画を執行するため各種事業の推進に努力しました。

一般会計

◎歳入

歳入全般を通して、町税、使用料および手数料などが増となったが、きびしい状況であり、国・県の補助制度、有利な地方債の活用で、概ね所期の見込みを達成しました。

◎歳出

直島ホール完成に伴う落成式および名誉町民証贈呈式を開催しました。災害情報を配信する行政情報通信サービスの運用を行い、町内に防犯カメラ4台を設置しました。

特別会計

●国民健康保険事業

保険税の収納率向上に努め、1人当たりの診療費が県下で比較的高額である現状を踏まえ、医療費適正化に取り組みます。

●診療所事業

地域医療を恒久的に継続できる体制を整え、安定した診療所運営に努め、安心して利用できる診療所となるよう努力します。

●釣公園事業

海浜における健全で快適な海釣り体験の場を提供し、余暇活動の増進をはかります。

見舞金支給は

Q

(浜口) 夏季・歳末見舞金で過去に支給漏れがなかったか。

A

(町長) 今年1人の方に漏れがあるのがわかった。要綱では過去にさかのぼって支給できないようになっており渡せなかった。

A

(住民福祉課長) 要綱を見直し良い方向に改正したいと考えている。

直島サミット開催は

Q

(井下) 以前、直島サミット（製錬

A

(丸山) 他の自治体が独自で発行するところもある。本町はどうか。

A

(町長) 昨年は、国の全額負担で発

プレミアム商品券発行については

Q

所・漁協・ベネッセ・町長・議長が参加) を開催していたが、現在どうなっているのか。

A

(町長) 5年程前に開催したのが最後だ。日程がなかなか合わず、開催できていない。可能なら、調整をして開催したい。

Q

(石川) 税の公平性から滞納がなくなるようにすべきと思う

Q

(中野) 子どもたちのあいさつ運動はよくできている。毎日のことでもあり、今後どんどん、おし進めてほしいが。

A

(教育長) とても大切なことと思う。校内ではよくできており、地域の人たちともできるようなばっている。

滞納がなくなる努力を

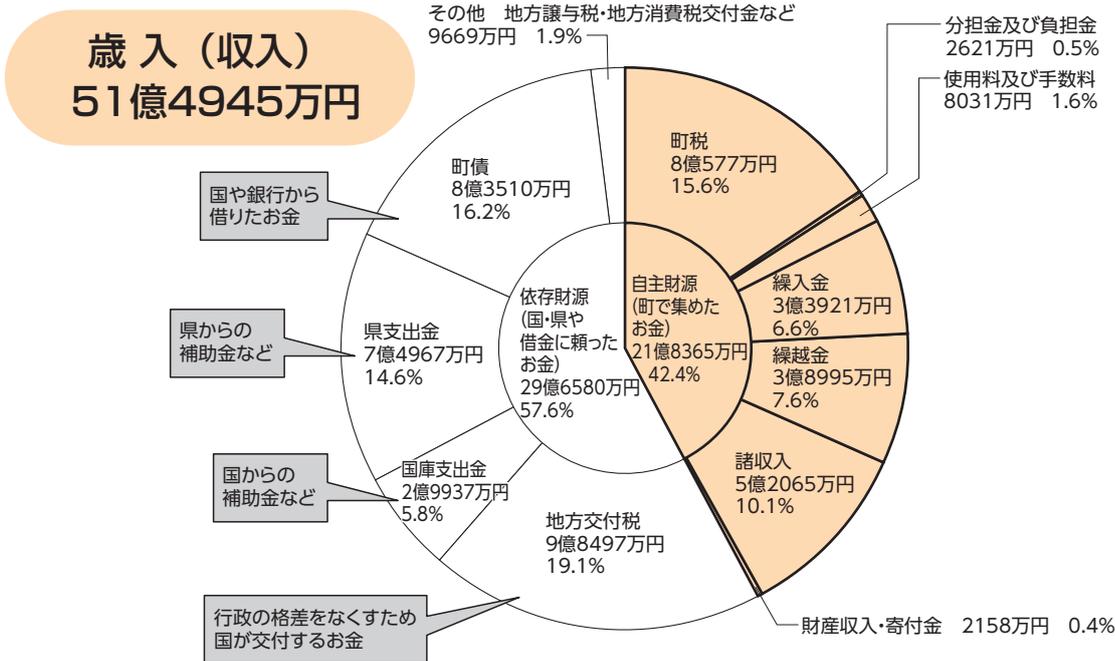
あいさつ運動進めて

Q

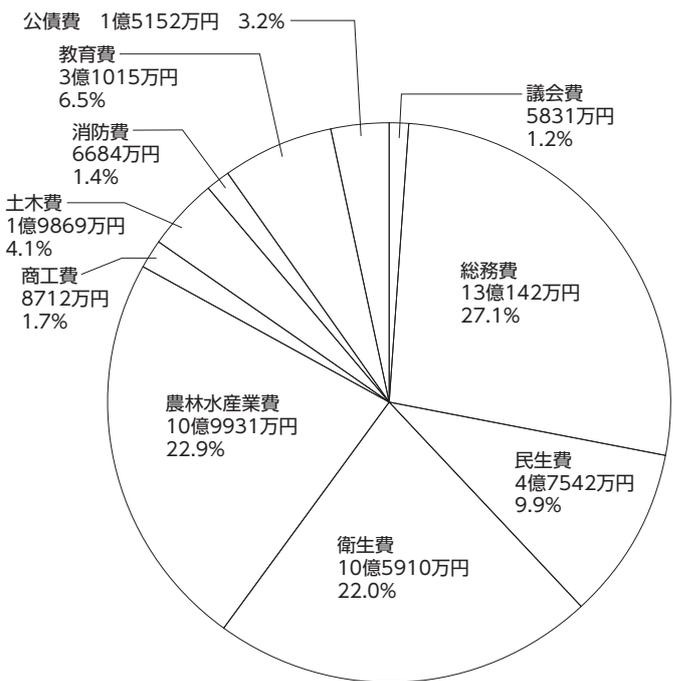
(町長) 当事者として話をしたり、計画的に納付してもらおう、きめこまやかな対応を考えている。

税の滞納なくす

平成27年度一般会計歳入歳出構成図



**歳出（支出）
48億788万円**



こんな事業に使いました

総	町営バス運行費	5156万円
総	町民会館費	3億9251万円
民	紙おむつ・粉ミルク等補助	249万円
民	老人バス利用助成	100万円
衛	火葬場改修	2052万円
衛	焼却施設整備	6億5357万円
農	積浦漁港高潮対策整備	6062万円
商	ふるさと海の家改修	1486万円
商	直島の火まつり・夏まつり助成	826万円
土	各所道路等改良	1169万円
消	消防車・排水ポンプ購入	1065万円
教	小・中学校太陽光発電設備設置	5260万円

(グラフの数字は万円単位にしていますので合計が一致しないことがあります)

平成27年度決算〔主な質疑〕

一般会計

子育て支援補助の件数は

Q (浜口) 紙おむつ・粉ミルク等利用の件数は。

A (住民福祉課長) 件数はわからないが、500円券を渡して4973枚使用されている。

福祉センター利用に変化は

Q (井下) センター大規模改修後、問題はなにか。また、町民会館ができて利用が減っていないか。

A (住民福祉課長) まだ改修の必要がある。利用者は女文楽の使用が減った程度だ。

豊島産廃処理終了後の

Q (小林) 豊島の処理が終了後、エコアイランド事業はどうするのか。

A (町長) 可能な限り県から補助をもらって続けたい。

Q (小林) 県の補助がなくなった場合、縮小してでもできないか。

A (町長) 町として続けていきたい。

バーベキューヤードの改修を

Q (井下) つつじ荘の改修内容は。

A (まち観課長) トイレの洋式化、オ・シャワー室の改修と外構の手摺りの修理だ。

Q (井下) パオはもう少し修理が必要ではないか。また、バーベキューヤードの改修は。

A (まち観課長) 来年以降、ベネッセの研修施設工事にあわせて再度補修したい。その

他の改修が必要な場所は順次やっていきたい。バーベキューヤードもその時にやりたい。

極楽寺の補助は

Q (小林) 極楽寺の補助金の予算計上はいつ頃か。また、その額は。

A (教育次長) 予算計上は新年度。補助額は最大200万円を

考えている。

外国語エリアマップは

Q (丸山) 外国語のエリアマップを作製したが英語だけか。

A (まち観課長) 今回は英語だけだ。観光協会で中国語・韓国語の簡単なものを作ると聞いている。

繰越金を減らせ

繰越金を減らす努力を

Q (小林) 実質収支で繰越金が2億円以上ある。1億円でも積立金にすれば預金利息が増えるなど、いろんな運用が考えられる。減らす努力を。

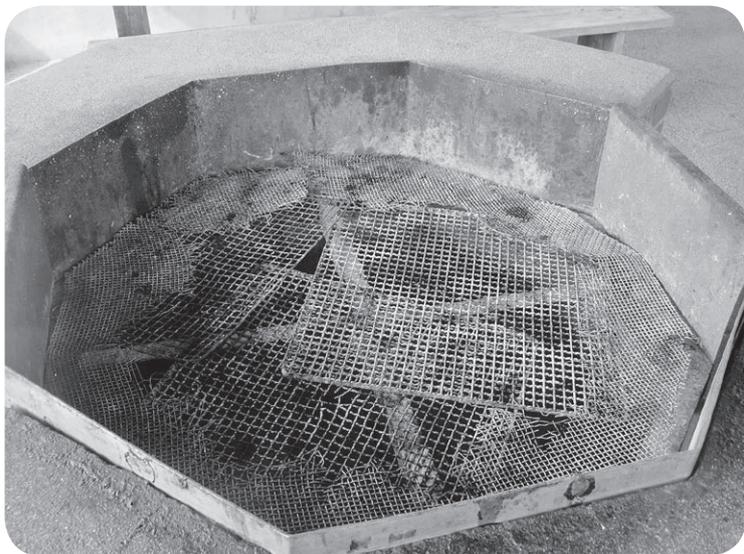
A (総務課長) 以前よりかなり繰越金が増えている。3月補正できびしく査定をして繰越金が出ないよう頑張りたい。

討論

賛成(井下)

5年前まで実施していたサミットを再開して町内事業所のトップとの意見交換により経済・文化・観光そして商工業等のさらなる振興がなされ、今後、町の人口また瀬戸芸等の交流人口が増加するよう努力することを要望する。

※(まち観課長)とは、まちづくり観光課長の略



早く修理して(バーベキューヤード)



洋式にしたつつじ荘トイレ

工業用水代金据置くべき

特別会計

国民健康保険事業

Q (小林) 不納欠損額が多い。時効の中断等も考え執行すべきでは。

A (税務課長) 時効の中断等延長するよう努力したい。

診療所事業

Q (井下) 繰入金が12%程度減少している要因は。また、今後の方針は。

A (事務長) 一般の入院患者が増加した。今後も医師と連携し、適切な医療を進めたい。

離島飲料水供給事業

Q (小林) 塩素発生装置を設置しているが、猛暑であった今年の残留塩素の値は。

A (環境水道課長) 0・1PPMで問題はない。

下水道事業

Q (丸山) 受益者負担金が不納欠損となっているが、理由は。

A (環境水道課長) 当事者が転出し、連絡がとれなくなっているため。

釣公園事業

Q (井下) 塩釜焼はどうなっているのか。また、試験的に行ったハマチの販売は今後どうなるのか。

A (建設経済課長) 塩釜焼は予約があれば行っている。ハマチの販売は10匹程度で行いたい。

簡易水道事業

Q (浜口) 第2海底送水管が破損の恐れがあり、第3海底送水管を布設した。その後、第2海底送水管の調査は行ったか。

A (環境水道課長) 順調に送水されていたので行っていない。調査は必要だと思っている。

Q (小野) 新しい浄水場が完成した時点で、工業用水の売却代金をどのように考えているのか。

A (小野) 工業用水の売却代金をどのようになっているのか。

製錬所は当町の基幹産業であるので、現在の価格で売却するべきではないか。

A (町長) 議員の意見が多数であれば、そのような方向で検討したい。



工事中の浄水場

討論

診療所事業

賛成 (丸山)

入院等の収入が増えているが、今後とも医師・看護師等の確保に努力することを要望する。

釣公園事業

賛成 (井下)

使用料、事業収入を増やすこと、事業サービスやPR活動を充実し、本事業の活性化を要望する。

監査報告

“税等の完納に向けて、一層の努力を望む”

監査委員 岡田 英機
同 小野 孝一

平成27年度の一般会計・特別会計・簡易水道会計について審査した結果、会計経理は適正と認めた。

〔主な指摘事項〕

《一般会計》

先行きが不透明な中で、難しい財政運営になるが、国や県等の財政状況に留意し、創意と工夫を凝らした行財政運営を望む。

《特別会計》

〔国民健康保険事業〕

滞納額は少し減っているが、依然として滞納が多い。保険税徴収率の向上および保険給付費の減少に努め、健全運営に一層の努力を望む。

〔下水道事業〕

単年度収支は537万円程の赤字となっている。当会計は、一般会計からの繰入金が大きな比重を占めている。供用開始区域の水洗化率の向上を図るとともに、負担金、使用料の滞納額の完納と健全な財政運営を望む。

〔釣公園事業〕

本年度の利用客は3711人で、前年度より8人減となっている。施設環境および利便性の向上を図り、集客対策を模索し、健全経営に努めるよう望む。また、指定管理者制度等の導入による民間委託への移行等運営方法の見直しも要望する。

IT企業誘致の 実現性は

気持ちは
変わっていない



濱中町長

主な質疑

IT企業の誘致は

Q (井下) IT企業なら地方でやっていけるような話があった。以前、誘致の質問をしたが実現性が強くなったのでは。

A (町長) IT企業を誘致したい気持ちには全く変わっていないが、全国の市町村が同じことを考えている。何がポイントになるかが一番大きい。

補助金的なものを検討

県全体の国保の内容は

Q (小林) 平成30年に県主体の国保に移行するが、国保連合会の総会で、具体的な話があったのか。あと2年もないのだから、国保に入っている方々の不利にならないよう協議が必要では。

A (町長) 総会では、取り組みの話は、ほとんどなく、システムを事前に調整して作っていく説明が少しあった程度だ。

して、手を挙げていき

い。

「つづきの交流を つづけるか」

Q (浜口) ティミンズ市が姉妹都市縁組35周年記念事業を催したのは、かなり力が入っているからなのか。12月に市長が来る予定があるということだが、公式行事をするのか。具体的に、どのような交流を推進していくのか。

A (町長) いろいろ直島のことを調べ

住民福祉課長からも、まだ決まっていないことが多いと聞いている。

(主なもの)

- 6月11日 ライオンズクラブ主催の「ホテルの夕べ」が開催されました。
- 6月19日 文化協会芸能大会が福祉センターで開催されました。
- 6月26日 コメづくりプロジェクト2016 コメの体験「田植え」が開催されました。
- 7月11日 消防団の夏季訓練ならびに総会が開催されました。
- 7月18日 瀬戸内国際芸術祭2016の夏会期オープニングにあわせ、つづ太鼓で歓迎のお出迎えを行いました。
- 8月6日 第31回「夏まつり」が開催され、大盛況のうちに終了しました。
- 8月20日 「サマーフェスタ in 直島」が開催され、多くの町民の方に楽しんでいただきました。
- 8月25～29日 カナダ・ティミンズ市の姉妹都市縁組35周年記念事業に出席しました。
- 8月27日 うい・らぶ・なおしまによる「なおしま自然探検隊」が開催されました。



姉妹都市ティミンズ市を訪問

ており、ティミンズ市も見習いたいということだ。本町でも歓迎会を行う。中・高生の研修など考えていた。

要望した県の感触は

Q (小野) 県へ要望したのは簡易水道事業全般か、特定の工事についてか。

A (町長) 現在施工している浄水場の工事関係だ。国の補助金が減らされても、県の補助金は減らさないよう要望したが、国の要綱で決められており、無理だという回答だった。



原教育長

ぜひ
続けたい

海外研修は 続けるのか

Q (西岡) 学校にスマホなどを持参してもいいのか。また、ゲームをしながら歩いていて事故にあわないよう指導

スマホ・ゲーム対応は

A (教育長) 6、7人の参加だった。

外国人出身者との交流であり、有意義なもの。参加された人数は。

Q (浜口) 婦人会ふれあい交流会は、

交流会の参加者は

主な質疑

(主なもの)

- 6月3日 文化財保護審議会が開催され、議題は事業報告、事業計画等でした。
- 6月14日 県教育委員会義務教育課の課長補佐が来庁し、小学校における英語の教科化に向けた協議を行いました。
- 6月16日 総合教育会議が開催され、議題は「幼児学園の教育・保育および小・中学校の教育について」でした。
- 6月19日 文化協会芸能大会が開催され、町から15団体、延べ117人の出演者がありました。
- 6月23日 香川大学教育学部の学部長他2人が来庁し「小学校英語教科化に向けた専門性向上のための講習の開発・実施」について説明を受けました。
- 7月6日 東部教育長会が県合同庁舎で開催されました。
- 7月15日 臨時議会終了後、極楽寺本堂修理に関する申し出について説明しました。
- 7月26日 婦人会ふれあい交流会が開催されました。
- 7月27日 地域教育行政懇談会(高松地域)が開催され、協議テーマは「スマートフォンやゲーム機等の使用の適正化」についてでした。
- 7月30日 直島野球交流大会が開催され、8チームで交流試合を行いました。
- 8月4日 わんぱく寺子屋が開催され、小学生54人の参加がありました。
- 8月16日 中学生・高校生海外研修出発式を宮浦港で開催し、激励の言葉のあと、生徒代表が抱負を述べました。



ふれあい交流会

A (教育長) 町広報で研修の体験や感想を盛り込んだものを執

行。が、体験発表はするの

Q (井下) 中学生・

海外研修の体験発表は

は有意義なものである

認をして指導するよう幼小中連絡会でお願

A (教育長) スマホ

しているのか。



海外研修出発式で激励

大きな問題となっていることである。

A (教育長) 学校の統廃合が日本中で

会の研究協議で、今日的な課題とは。

Q (石川) 四国プロック町村教育長協議

今日的な課題とは

A (教育長) ぜひ、

続けていきたい。

Q (中野) 今後も続けていくのか。

委員さんよろしく

人事

米谷圭子氏を選任

人権擁護委員に米谷圭子氏の推薦があり、これに同意しました。
任期は法務大臣が委嘱した日から3年間



米谷 圭子氏

三田和子氏を再任

固定資産評価審査委員会委員に三田和子氏を再任同意しました。
任期は平成28年10月4日から平成31年10月3日まで



三田 和子氏

おつかれさま でした

表彰

全国町村議会議長会から、本年6月に香川県の会長を退任した蓬議長に在職中の功績に対して感謝状が、贈呈されました。



蓬 清二 議長

平成28年度予算補正

一般会計

平成29年7月から、マイナンバー制度の自治体間情報連携が始まることに伴い「安全管理措置」基本方針、取り扱いマニュアル作成等を行うため248万円を追加し予算総額は37億8535万円となりました。

- 歳入
 - 前年度繰越金 248万円追加
 - 歳入
- 歳出
 - マイナンバー安全管理措置対応支 248万円追加
 - 援業務委託料

議会を傍聴しませんか

次の議会定例会は、**12月**に開催されます。

傍聴の手続きは、役場3階議場内の傍聴席受付で住所・氏名等を記入するだけです。

議会事務局 (☎892-2297)

2人が町政を問う



井下 議員



西岡 議員

内容は質問者の責任において作成しています。

女性に活躍の場を

〔町長〕 取り組みを進めたい

今や国内外で女性が活躍、各業界で能力を發揮している。

このことについて2点質問する。

①他の自治体には女性管理職がいるが本町にはない。能力があれば女性課長が誕生してもいいのではないか。

②現在、全国の消防団員の1割が女性消防団員であり、最近では全国的に男性より女性の方が入団数が多いのが現状だ。

本町においても女性消防団を結成し、活躍の場を広げてもらいたい。災害発生時、子どもや高齢者の保護に女性目線によ

る対応が期待できると考える。

〔町長〕 1点目だが、女性職員の活躍推進に向けて、女性の参画拡大に努め、管理職への登用を積極的に進めることが、特に重要であると認識している。

2点目だが、本町も消防団の女性部結成など女性消防団員の加入促進策や活躍の場の確保に向けて、検討する時期だと考

えている。そのために、条例の見直しや報酬もあわせて検討しなければなら

い。



他市の女性消防団員

中学・高校生の宿泊施設を

〔町長〕 問題多く困難だ

現在直島町は少子化が進み、小・中学校では野球やサッカーの部活やスポ少が1チームできない状況にある。そういった中学生の何人かは、高松市のクラブチームに入り

休日技術を磨いている。その中学生や部活をする高校生も、船の時間があるからと他の生徒より早く帰ったり、試合で集合時間が早い時は前泊で

参加している現状がある。

その子どもたちの環境改善のため、以前あった学生寮のような施設を検討すべきと考える。

〔町長〕 指摘のとおり、少子化の影響で最近では中学校野球部が休部、親連杯サッカー大会が開催できない現状だ。言われるように昔は学生寮が存在したが、風紀のみだれ等で廃止された。



高松市のクラブチームに入っています

寮を町が運営するとすると財政面

をはじめ、何か

あった時の責任等

問題が多く、実現

は無理と考える。

現行の部活動補助

金を活用して対応

いたきたい。

〔教育長〕 寮実現には、

①町財政面や現行

制度の問題がない

か

〔町長・教育長〕 難しいのは理解

する。今後、父兄

から面談の要望があれば

対応するか。

〔町長・教育長〕

そういう場があれば

お聞きしたい。



あれ、どんなっとん!

このコーナーは、議員が以前に一般質問や委員会で質問した問題が進展しているか、どうかを再考しています。

「検討したい」は“進展なし”

- 4** Q：町営住宅の建設計画は
(平成27年9月定例)
A：ニーズを調査し、宅地の造成などを含めて計画的に進めたい。

議会の考え

平成28年度にて京ノ山地区に2戸分の建設予定であるが、先行投資も必要と考える。

- 5** Q：高校生など若者の考えを聞く機会を
(平成28年3月定例)
A：議会形式ですと参加者が集まらない可能性があり、若者フォーラムというワークショップ形式を考える。

議会の考え

若者の意見は町の将来にとって非常に大切なもの。どしどし開催すべきでは。

- 6** Q：翻訳機を置いては
(平成28年3月定例)
A：有効なものであれば導入も検討したい。

議会の考え

英語圏だけでなく、中国・韓国・台湾からも多くの観光客が来島しているので、おもてなしの心をもって導入すべき。

思うところ

議会の要望などをすべて実施すると多額の経費が必要となり、予算的にも厳しいものがある。

しかしながら、町の将来を見据えて可能な事務事業は“どんどん”と実施するべきだ。

- 1** Q：宮ノ浦公園にトイレを設置すれば
(平成27年9月定例)
A：ふれあい診療所のトイレを利用して。ギャラリー六区の中にも設置を検討しているようだ。

議会の考え

診療所は子どもたちには少し遠いので、公園内にトイレは必要と思う。



トイレをつくってヨ～

- 2** Q：ふれあい診療所のPRを
(平成27年9月定例)
A：ふれあい診療所にかかっていれば救急時にも対応ができるメリットがある。広報紙等でお知らせする。

議会の考え

診療所に来てくれる患者が増えれば、少しでも赤字の解消につながるので、インパクトのあるチラシなど配布してPRを。

- 3** Q：高校生の通学航路費の増額予定は
(平成27年9月定例)
A：以前は3割補助。現在は6割の補助であるが、子育て面からも今後検討したい。

議会の考え

国からの補助金で6割になったが、町負担は3割から増えていないのでもう少し増額してもいいのでは。

移住に不安を感じさせないよう



筆本 聡 さん



聡さん、栖空ちゃん、華七さん

今回はIターンされ、建設会社に勤務、毎日汗を流しておられる筆本聡さんと奥様の華七さんにご登場いただきました。

Q 筆本さん、今日はよろしく願います。早速ですが、いつ頃直島に来られましたか。どちらのご出身ですか。

聡 今年の3月下旬です。出身は私は広島で妻は福島です。福島からこちらに来ました。

Q ご家族は何人で、どちらにお住まいですか。

聡 妻が今妊娠中で、11月で4人になります。宮ノ浦に住んでいます。

Q Iターンの動機は。

聡 放射能からの避難もあります。家族との時間を増やしたいと考えていた時、直島カリーズのHPを見て住もうと。

Q 休日は何をされていますか。趣味は。

聡 今、妻には安静に

してもらっている、午前中に掃除、午後から1週間分の食料の買い出しに。趣味は絵を描くことで、仕事の内容や家族を描いています。

Q もう島生活も慣れてきたかと思いますが印象はどうですか。

聡 まず良い職場で働かせていただき感謝。妻は子どもの医療や出産で不安を感じていたようですが、役場の方々が丁寧に指導、相談に乗ってくさるので感謝。



聡さんが描きました

Q 何か困ったことはありませんか。

聡 夫婦共々ですが、出産と子どもの医療が不安ですね。夜中破水したらどうするか。産後母子のどちらか入院したらどうしようとか。

Q 現在町では、筆本さんのように直島に住んでいただく等、人口増加策に力を入れています。今後どうすれば良いか、ご意見をお聞かせください。

聡 的外れかもしれませんが、まず住む所を探るのが大変でした。直島カリーズの山岸夫妻に大変お世話になりました。下見に来た時、どの家

なら赤ちゃんも一緒に住めるか探すのも一苦労。移住は若い世代が多いでしょうから、不安を感じさせないことですね。

Q 最後に、町民の皆さんにPRをどうぞ。

聡 現在、島内の建設会社に勤務していますので、地域の方々の生活に配慮し作業すると共に、地域の溝掃除の時も全力を尽くしたいと思っています。

筆本さん、本日はお忙しいところありがとうございました。お仕事大変だと思いますが、ケガ等されないよう気をつけてご家族皆さん元気で明るくお過ごしください。



編集後記

リオオリンピックで、レスリング女子の伊調さんの4連覇は見事でした。男子体操個人総合の内村さんの2連覇も見事。2人とも大逆転の金メダルでした。

今回のオリンピックは逆転劇が多かったように思います。バドミントン女子の高橋・松友ペアや柔道女子の田知本さんなどは残り何秒かで逆転しました。日本選手も以前とくらべメンタル面で強くなってきたように思います。

4年後は東京オリンピック。若者たちに精神面・体面とも鍛えてもらって、今回以上の成績を期待したい。(丸山記)

議会広報編集特別委員会

- 議長 蓬 清二
- 委員長 井下 良雄
- 副委員長 石川 知久
- 委員 西岡裕喜広
- 委員 浜口 敏夫
- 委員 小野 孝一
- 委員 丸山 義朗
- 委員 小林 眞一